

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援室せいかエデュケアルーム 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 24日 ~ 2026年 2月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 38名	(回答者数)	28名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日 ~ 2026年 3月 9日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・公認心理士などのあらゆる分野での専門知識のある職員が在籍しているため、利用者のニーズに合わせた療育を実施している。今後も職員の専門性をさらに高め、質の高い支援を提供していきたい。	定期的に情報共有や意見交換をする会議を設け、保育士・児童指導員・作業療法士・公認心理士などそれぞれの立場での気づきやアイデアを共有できるようにしている。それにより、質の高い、個々に合わせた支援が提供できるようにしている。	今後は、定期的な勉強会や研修を実施し、それぞれの立場での強みを生かせるようにしていきたい。
2	子どものことを十分に理解し、一人ひとりに合わせた支援プログラムを提供できている。	主に担当制で1対1の個別療育を行っているため、より丁寧な支援が提供できている。	担当者だけでなく、他のスタッフとも情報共有、意見交換などを積極的に行うことで、別の視点からのアプローチにも繋がる。
3	併設園がある事業所であり、利用者の多くがグループ園に通っているため、現場の先生と日常的に情報共有を行いやすい環境にある。園での様子を踏まえながら支援内容を調整でき、子ども一人ひとりに合った継続的な支援につなげやすい。	園の担任の先生と日常的に子どもの様子を共有し、園での関わり方や支援方法を確認している。また、園と事業所ですできるだけ対応や声かけを統一することを意識し、子どもが安心して過ごせるよう支援を行っている。	園との情報共有をより充実させ、子どもの成長や課題に応じた支援につなげていく。また、園と事業所が連携しながら、より一人ひとりに合った支援方法を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や、保護者会を実施する機会が少ない点が課題である。	保護者会やイベントを開催するとすれば、土曜日などの開催が望ましいが勤務時間の調整が難しい。	保護者からどのような交流会が必要としているか、困り感や悩みなどを聞きながら、ニーズに合ったイベントや交流会を実施していきたい。
2	あらゆる緊急時や防災に関するマニュアルを作成し定期的な訓練を実施しているが、保護者の方にその情報が共有できていないため、評価が低くなっている。	あらゆる緊急時や防災に関するマニュアルを作成し定期的な訓練を実施しているが、保護者の方にその情報が共有できていないため、評価が低くなっている。	緊急時や防災に関するマニュアルを作成していることや、どのような方法で訓練を実施しているのかを、情報共有システムなどを使用し積極的に伝えていく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 療育支援室 せいかエデュケアルーム

公表日 2026年 3月 23日

利用児童数 2026年 3月 23日 回収数 73.7%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	25	3				1対1での個別療育を行っています。療育内容によってはサブの職員を配置し危険の内容に安全に十分配慮して支援を提供できるようにしていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	28					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	24	3		1		子どもが安心して活動できるよう、わかりやすい環境づくりや安全面に配慮した設備整備を行っています。今後も子どもの特性や状況に応じて環境設定を見直し、より過ごしやすい環境づくりに努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	28					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	28					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	28					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	28					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	25	1		2		児童発達支援ガイドラインを踏まえ、子どもの発達状況や特性に応じて必要な支援内容を検討し、児童発達支援計画を作成しています。今後も子ども一人ひとりに応じた具体的な支援内容となるよう、計画の充実に努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1		2		作成した児童発達支援計画に基づき、子どもの状況に応じた支援を行っています。今後も職員間で計画内容を共有しながら、計画に沿った支援を適切に実施してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	27		1			子どもの発達状況や特性に応じて活動内容を検討し、活動プログラムが固定化しないよう工夫しています。今後も多様な活動を取り入れながら、支援内容の充実に努めてまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	2	1	4		園に併設された事業所として、今後も子どもの状況や安全面に配慮しながら交流の機会を大切にしていきます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28						
13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28						

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	2	3	12		保護者向けのイベントや家族支援など今後検討したいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	24	4				日々の支援の中で、子どもの健康や発達の状況について保護者と情報を伝え合い、共通理解が得られるよう努めています。今後も子どもの状況に応じて適切な情報共有を継続してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	25	2		1		半年ごとのモニタリング面談のほか、随時相談支援も行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	28					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	2	6	14	兄弟がいないのでわかりません。	今後保護者向けのイベントなど検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1		1		連絡システムを利用し相談を受け入れております。また、申し入れがあった際は適切に対応しております。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	2		1		子どもや保護者との意思疎通及び情報伝達について、適切な配慮を行いながら支援を行っています。今後も子どもや保護者にとって理解しやすい方法で情報伝達に努めてまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	28					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	28					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	20	1		7		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を作成しています。また、発生を想定した訓練も実施しています。今後も安全対策の充実に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17			11		非常災害の発生を想定し、園の避難訓練とあわせて避難その他必要な訓練を定期的に行っています。今後も訓練を継続し、職員間での安全確認を行いながら、災害時の対応力向上に取り組んでまいります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	25			3		子どもの安全を確保するための計画に基づき、職員間で共有しながら支援を行っています。今後も安全確保に努め、安心して過ごせる環境の提供に取り組んでまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	23	1		4		事故など発生した場合は速やかに保護者へ連絡をし状況の説明を行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	28					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	28					
	29	事業所の支援に満足していますか。	28					

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	療育支援室 せいかエデュケアルーム 児童発達支援		公表日	2026年 3月 23日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		個別療育を実施し、子ども達が十分に活動できるように工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		利用人数や状況に合わせて配置しており、安全確保のために複数職員で支援することもある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		利用者の方がより分かりやすい表示を改めて考え直し、特性に応じてイラストや写真等の視覚的な情報を活用する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		活動に応じてその都度掃除をし、マットや床など更に清潔に保てるようにする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		併設している子ども園の部屋を必要に応じて借りている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		職員全体で、計画を立てるところから振り返りまで共有する時間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ホームページで公開し、課題や改善点に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎朝の朝礼と毎週末の会議で必ず情報共有や意見交換の場を設けて業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		今後、必要に応じて外部評価の実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	安全計画を作成し、職員に対して定期的な安全管理研修を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、職員全員に周知徹底を図っています。	研修や訓練の内容が一部の職員にとっては不十分な場合があり、実務に即したシミュレーション訓練を強化する必要があります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムは子ども一人ひとりの特性に合わせて作成し、個別支援計画を基にプログラム内容を柔軟に調整しています。また、保護者にも支援プログラムの内容や目標を分かりやすく説明し、透明性を確保しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		発達検査の結果や子どもの行動観察、保護者への聞き取りから計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員で子どもの達の情報を共有し、必ず意見交換をした後、子どもたちにとって最善と思われる支援内容を話し合い作成している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に沿ったプログラムを立てて支援を行っている。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたツールと日々の行動観察を組み合わせ、こどもの適応行動を多角的に確認しています。これにより、こどもの個別のニーズに応じた支援が提供できるよう工夫しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		発達支援（生活、運動、認知適応、言語社会）、家族支援（保護者との振り返り等）、地域支援（連携）といった支援内容で進めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		支援計画に沿ったプログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		必要に応じて教材を追加しながら、次につながるプログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		課題や年齢に合わせて集団も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日必ず情報共有するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	成長した点や子どもの言動、支援方法を共有し、次の支援につなげられるようにしている。	今後も、関わり方や支援方法が適切であったかどうか、その都度振り返り、次回に生かす。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎回の療育後に記録を取り支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6ヶ月に1回モニタリングを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			参画できるように日程調整や時間調整をする必要がある。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	保健センターや相談支援員の方と情報共有し、支援に取り入れている。	子育て支援の関係者、機関と必要に応じて連携して支援する。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	併行利用や移行支援において、個別支援計画を基に段階的にサポートし、保育所や幼稚園、特別支援学校との情報共有を行っています。	情報共有のタイムリーさや認識のズレがあるため、定期的なミーティングやフィードバックを強化し、支援方法の統一と連携をさらに進める必要がある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	4		在籍とは小学校就学に向けて必要な支援などの情報共有は行っている。今後は就学期間との直接的な連携も取り入れていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	(31は、事業所のみ回答)					

	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			今後積極的に取り組んでいきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	外部の保育園からの利用者を交えて集団療育を行ったり、子ども園の施設を使って交流するよう工夫している。	子ども園の園庭などを利用し、交流の場を増やす機会をつくる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		毎回必ず話す機会を設け、直接お伝えしたり、毎回会えない方とは連絡システムを使いお伝えしている。	送迎利用等でお会いできない保護者には、共通理解を図るため定期的に活動を見に来ていただけるよう積極的に働きかける。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7		家族支援について詳しく学ぶ機会があれば参加する。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明し、不明なところがないか確認している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		6ヶ月に1回モニタリングを設け、本人や家族の意向を丁寧に確認している	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		作成した計画書を見ながら説明し、同意を得てサインをしていただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		必要に応じて専門職員が面談を行っている。	保護者の方と会う機会が少ない場合は、保護者の相談に対応できるように定期的に機会を設ける。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7		今後積極的に、交流できる機会を増やしていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		ご意見をいただいた際はすぐに改善するように職員で共有し、対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月エデュケアルーム新聞を発行したり、連絡システムで情報を発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報使用同意書を活用している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		状況に合わせた伝達方法（直接、電話、連絡システム等）を用いるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		プライバシーの問題から実施していない。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		併設の子ども園と同じマニュアルを策定し、訓練を行っている。	訓練の内容を全職員で共有し、緊急時に冷静に対応する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		法人としてBCPの策定、定期的な話し合い、訓練を行うようにしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		見学・契約時に聞き取り、また児童調査票にも記入していただき、常に注意している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		該当児なし	

非常時等の対応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を定期的に見直し、職員全員が参加する研修や訓練を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、実践的な訓練を通じてスタッフの意識向上を図っています。	安全計画に関する情報共有が不十分な場合があります。全スタッフが常に最新の情報を把握しているか確認する仕組みを強化する必要があります。また、訓練の頻度を増やし、実際の支援場面に即したシミュレーションを行うことで、より実践的な安全管理を実現したいと考えています。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		毎朝の朝礼で少しでも危険があれば共有し、改善するようにしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修に参加し、日頃から意識している。	研修内容を共有し、学びの場を増やす。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束をするケースなし。	危険が伴う場合など突発的に身体拘束となることが想定されるケースや改善に向けた取り組みも含めて検討する。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援室 せいかエデュケアルーム 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 24日 ~ 2026年 2月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	4名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日 ~ 2026年 3月 9日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	作業療法士・公認心理士などのあらゆる分野での専門知識のある職員が在籍しているため、利用者のニーズに合わせた療育を実施している。今後も職員の専門性をさらに高め、質の高い支援を提供していきたい。	定期的に情報共有や意見交換をする会議を設け、保育士・児童指導員・作業療法士・公認心理士などそれぞれの立場での気づきやアイデアを共有できるようにしている。それにより、質の高い、個々に合わせた支援が提供できるようにしている。	今後は、定期的な勉強会や研修を実施し、それぞれの立場での強みを生かせるようにしていきたい。
2	子どものことを十分に理解し、一人ひとりに合わせた支援プログラムを提供できている。	主に担当制で1対1の個別療育を行っているため、より丁寧な支援が提供できている。	担当者だけでなく、他のスタッフとも情報共有、意見交換などを積極的に行うことで、別の視点からのアプローチにも繋がる。
3	併設園がある事業所であり、利用者の多くがグループ園に通っているため、現場の先生と日常的に情報共有を行いやすい環境にある。園での様子を踏まえながら支援内容を調整でき、子ども一人ひとりに合った継続的な支援につなげやすい。	園の担任の先生と日常的に子どもの様子を共有し、園での関わり方や支援方法を確認している。また、園と事業所でできるだけ対応や声かけを統一することを意識し、子どもが安心して過ごせるよう支援を行っている。	園との情報共有をより充実させ、子どもの成長や課題に応じた支援につなげていく。また、園と事業所が連携しながら、より一人ひとりに合った支援方法を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や、保護者会を実施する機会が少ない点が課題である。	保護者会やイベントを開催するとすれば、土曜日などの開催が望ましいが勤務時間の調整が難しい。	保護者からどのような交流会が必要としているか、困り感や悩みなどを聞きながら、ニーズに合ったイベントや交流会を実施していきたい。
2	あらゆる緊急時や防災に関するマニュアルを作成し定期的な訓練を実施しているが、保護者の方にその情報が共有できていないため、評価が低くなっている。	あらゆる緊急時や防災に関するマニュアルを作成し定期的な訓練を実施しているが、保護者の方にその情報が共有できていないため、評価が低くなっている。	緊急時や防災に関するマニュアルを作成していることや、どのような方法で訓練を実施しているのかを、情報共有システムなどを使用し積極的に伝えていく。
3			

公表	保護者等からの事業所評価の集計結果
----	-------------------

事業所名	療育支援室 せいかエデュケアルーム 放課後等デイサービス
------	------------------------------

公表日 2026年 3月 23日

利用児童
数 2026年 3月 23日

回収数 50%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3			1		併設のこども園の遊戯室なども使用し確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	4					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4					
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	1				保護者も方にさらにご理解いただけるように努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4					
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。			2	2		併設のこども園などとも連携し活動する機会を設けます。	
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4						
13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4						
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		3			保護者向けの学習会などのイベントを今後検討したいと思います。	
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4						
16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4						

保護者への説明等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			3	1		保護者の方が参加していただけるようなイベントを検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4					
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	1	1		2		ホームページにて掲載しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。				4	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			3		非常災害の発生を想定し、園の避難訓練とあわせて避難その他必要な訓練を定期的実施しています。今後も訓練を継続し、
25		事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	1				子どもの安全を確保するための計画に基づき、職員間で共有しながら支援を行っています。今後も安全確保に努め、安心して
26		事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2			2		事故など発生した場合は速やかに保護者へ連絡をし状況の説明を行っております。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	4					
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育支援室 せいかエデュケアルーム 放課後等デイサービス			公表日	2026年 3月 23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		個別療育を実施し、子ども達が十分に活動できるように工夫している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		利用人数や状況に合わせて配置しており、安全確保のために複数職員で支援することもある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	7		利用者の方がより分かりやすい表示を改めて考え直し、特性に応じてイラストや写真等の視覚的な情報を活用する。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		活動に応じてその都度掃除をし、マットや床など更に清潔に保てるようにする。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		併設している子ども園の部屋を必要に応じて借りている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		職員全体で、計画を立てるところから振り返りまで共有する時間を設けている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ホームページで公開し、課題や改善点に取り組んでいる。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		毎朝の朝礼と毎週末の会議で必ず情報共有や意見交換の場を設けて業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		今後、必要に応じて外部評価の実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	安全計画を作成し、職員に対して定期的な安全管理研修を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、職員全員に周知徹底を	研修や訓練の内容が一部の職員にとっては不十分な場合があり、実務に即したシミュレーション訓練を強化する必要があります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		支援プログラムは子ども一人ひとりの特性に合わせて作成し、個別支援計画を基にプログラム内容を柔軟に調整しています。また、保護者にも	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		発達検査の結果や子どもの行動観察、保護者への聞き取りから計画書を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員で子どもの達の情報を共有し、必ず意見交換をした後、子どもたちにとって最善と思われる支援内容を話し合い作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に沿ったプログラムを立てて支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		標準化されたツールと日々の行動観察を組み合わせて、こどもの適応行動を多角的に確認しています。これにより、こどもの個別のニーズに応	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		発達支援（生活、運動、認知適応、言語社会）、家族支援（保護者との振り返り等）、地域支援（連携）といった支援内容で進めている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		支援計画に沿ったプログラムを立てている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		必要に応じて教材を追加しながら、次につながるプログラムを考えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		課題や年齢に合わせて集団も取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日必ず情報共有するようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	成長した点や子どもの言動、支援方法を共有し、次の支援につなげられるようにしている。	今後も、関わり方や支援方法が適切であったかどうか、その都度振り返り、次回に生かす。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎回の療育後に記録を取り支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6ヶ月に1回モニタリングを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7		こどもの発達段階や興味に応じて、遊び・生活訓練・学習支援など複数の活動を組み合わせ、実施している。	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		活動内容を複数提示し、こども自身が選択できる場面を設けている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			参画できるように日程調整や時間調整をする必要がある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて医療・福祉・教育機関と連絡を取り、支援に反映させている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			年間計画などの長期的な情報共有が不足しているため、計画的な連携を強化する必要がある。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要に応じて過去の支援内容を確認し、現在の支援に活かしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			移行前からの計画的な準備や関係機関との連携を、より早期から行う必要がある。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2	必要に応じて助言を受け、支援の質の向上に努めている。	今後積極的に取り組んでいきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			交流の機会が限定的であるため、継続的・多様な交流の場を増やす必要がある。

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。		7		参加頻度や主体的な関与が十分でないため、より積極的な参加が求められる。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		7	毎回必ず話す機会を設け、直接お伝えしています。お子様も前ではお話できない内容は別日で面談をしたり連絡システムを使いお伝えしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		7		家族支援について詳しく学ぶ機会があれば参加する。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		7	契約時に説明し、不明なところがないか確認している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		7	6ヶ月に1回モニタリングを設け、本人や家族の意向を丁寧に確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。		7	作成した計画書を見ながら説明し、同意を得てサインをしていただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		7	必要に応じて専門職員が面談を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催することにより、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		今後積極的に、交流できる機会を増やしていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		7	ご意見をいただいた際はすぐに改善するように職員で共有し、対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		7	毎月エデュケアルーム新聞を発行したり、連絡システムで情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。		7	個人情報使用同意書を活用している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		7	状況に合わせた伝達方法(直接、電話、連絡システム等)を用いているようにしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		7		プライバシーの問題から実施していない。
非常時等の対	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。		7	併設の子ども園と同じマニュアルを策定し、訓練を行っている。	訓練の内容を全職員で共有し、緊急時に冷静に対応する。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。		7	法人としてBCPの策定、定期的な話し合い、訓練を行うようにしている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。		7	見学・契約時に聞き取り、また児童調査票にも記入していただき、常に注意している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		7	該当児なし	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		7	安全計画を定期的に見直し、職員全員が参加する研修や訓練を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、実践的な訓練を通じ	安全計画に関する情報共有が不十分な場合があり、全スタッフが常に最新の情報を把握しているか確認する仕組みを強化する必要があります。

対応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		毎朝の朝礼で少しでも危険があれば共有し、改善するようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		研修に参加し、日頃から意識している。	研修内容を共有し、学びの場を増やす。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束をするケースなし。	危険が伴う場合など突発的に身体拘束となることが想定されるケースや改善に向けた取り組みも含めて検討する。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育支援室せいかエデュケアルーム 保育所等訪問支援		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 24日		～ 2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30人	(回答者数) 24人
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月 26日		～ 2026年 3月 6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	同じグループ園の利用者が多く、情報システムを全職員が使用していることで、連携が取りやすく定期的に関係機関連携を実施できている。	訪問時の観察だけでなく、園の職員から日頃の様子や困りごとを聞き取りながら情報共有を行うことを意識している。子どもの特性や発達段階に応じて、集団生活の中で過ごしやすいよう関わり方や環境調整について具体的な提案を行うよう努めている。	今後も園との連携を大切にしながら、子どもの特性や集団生活の中での課題に応じた支援の充実を図っていきたい。また、職員間での情報共有や研修等を通して支援の質の向上に努め、より適切な支援が行える体制づくりに取り組んでいく。
2	利用者の中には同じ施設内の子ども園に在籍している園児が複数名いるため、毎日子どもたちの集団の様子を見ることが出来るため、具体的な支援や保育士へのアドバイスが行いやすい。	日常的に子どもたちの集団生活の様子を把握できる環境を活かし、園での様子を観察しながら子どもの困りごとや課題を把握するよう心がけている。また、保育士との情報共有を行いながら、子どもの状況に応じた関わり方や支援方法について具体的な助言を行うよう努めている。	今後も子どもたちの集団生活での様子を継続的に把握しながら、保育士との情報共有を大切にしていきたい。また、子どもの特性や状況に応じた支援方法について検討し、より具体的な助言や支援につなげていけるよう取り組んでいく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者の多くが同一施設内の子ども園に在籍しているため、訪問先の環境が限定されている点が課題として挙げられる。今後は様々な園の環境や状況を想定した支援の検討を行い、支援の幅を広げていくことが必要である。	利用者の多くが同一施設内の子ども園に在籍しているため、他園への訪問や様々な環境での支援経験が少なく、幅広い支援方法を検討する機会が限られていることが課題の要因である。今後は小学校の幅も広げていきたい。	利用者の多くが同一施設内に在籍しているため、他園での支援経験が少ないことが課題となっている。改善に向けては、研修や事例検討、他園での見学・情報収集を通して支援の幅を広げる取り組みが必要である。また、園との情報共有や助言の方法を工夫し、子ども一人ひとりに応じた具体的な支援につなげられるよう努めていく。
2	地域との交流や、保護者会を実施する機会が少ない点が課題である。	保護者会やイベントを開催するとすれば、土曜日などの開催が望ましいが、スタッフ人数の関係上、土曜日などの勤務が難しい。	保護者からどのような交流会が必要と感じているか、困り感や悩みを聞きながら、ニーズに合ったイベントや交流会などを実施していきたい。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 保育所等訪問支援 療育支援室 せいかエデュケアルーム

公表日 2026年 3月 23日

利用児童数 2026年 3月 23日 回収数 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	15		1	8		子ども一人ひとりの特性や支援内容に合わせて教材を選択し、必要に応じて教材を作成したり調整したりしている。また、訪問先の環境でも使用しやすい教材を準備し、効果的な支援につながるよう工夫しています。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	21	1		2		併設している子ども園の面談室を必要に応じて使用しています。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	24					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	24					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	24					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	24					
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	24					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	21	2	1			訪問時や日常的なやり取りの中で、担任の先生から子どもの様子や困りごと、配慮してほしい点などを聞き取り、支援内容の検討に活かしている。また、園での関わり方や環境を踏まえながら、現場で実践しやすい支援となるよう意識している。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	24					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	24					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	24					
12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24						
13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24						
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	12	2	2	8		保護者向けのイベントや家族支援など今後検討したいと思えます。	
15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができてきていると思えますか。	24						

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	1		半年ごとのモニタリング面談のほか、随時相談支援も行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				
	18	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22		2		連絡システムを利用し相談を受け入れております。また、申し入れがあった際は適切に対応しております。
	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24				
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	24				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	22		2		訪問支援後に訪問先とフィードバックの時間を設けております。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	24				
	非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	20	1	3	
24		個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24				
25		事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	24				
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	24				
	28	事業所の支援に満足していますか。	24			とても満足しています。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日 2026年 3月 23日

療育支援室せいかエデュケアルーム 保育所等訪問支援

利用児童数 2026年 3月 23日 回収数 100%

チェック項目	はい	どちらと も	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	3		集団保育で活かせる具体的な支援方法を教えてほしいです。	利用者や保育士からのご意見を踏まえ、集団保育の中で実際に活かせる具体的な支援方法を提示することに取り組む。また、訪問時に助言を口頭で伝えるだけでなく、チェックリストや事例集を作成し、日常の保育活動に反映しやすくする工夫を行う。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	6	1		訪問支援員の先生の知識や技術には満足しておりますが、現場の先生方にわかりやすく指導していただけると嬉しいです。	支援員の知識や技術は評価されているが、現場職員にわかりやすく伝えるため、簡単な手順書やポイント集を作成し、訪問時に丁寧に説明する。また、個別指導だけでなく、研修や職員会議での共有を行い、理解度の向上と実践への活用を図る。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	3		保育をしながら対応するのは難しいのでフィードバックの時間を別で取っていただけると有難いです。	保育中は質問対応が難しいため、フィードバック専用の時間を事前に施設側と調整しておく。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	1	6		友達同士のかかわりで困っていることが多いのですぐに解消、軽減されるものではないと感じております。	友達同士の関わりなど、すぐに解消できない課題に対しては、長期的な視点で段階的な目標を設定する。保育士と協働し、困りごとが起こる場面を観察・分析したうえで、対応策を検討し、定期的に振り返りを行い支援方法を修正する。
5 事業所からの支援に満足していますか。	4	3		現場から様々な意見があがっているのでどちらともいえないを選択しております。	現場職員からさまざまな意見が出ていることを踏まえ、定期的に意見をまとめて支援の方針や進め方に反映していきます。個別の要望と事業所全体の方針を整理しながら調整することで、現場職員にわかりやすく、安心して活用できる支援体制を作り、理解と満足度の向上を目指します。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	療育支援室せいかエデュケアルーム 保育所等訪問支援		公表日			2026年 3月 23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3		訪問先の環境やこどもの発達段階に応じた教材などを選定し、効率的な支援を行っています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3		保育所等訪問支援後、情報共有の時間を設け、目標や今後の支援方針を話し合いを行っています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3		保育所等訪問支援後、情報共有の時間を設け、目標や今後の支援方針を話し合いを行っています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		定期的に会議を行い、様々な視点で子どもの姿を見れるようにしています。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		定期的な会議を実施し、従業員の意見を収集し、業務改善に反映しています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		現時点では行ってないが、必要に応じて今後検討していきたいと思います。
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		視野を広げたり、新たな視点獲得のため研修に参加する機会があります。	
適切な支援の提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3		アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズを分析した上で支援計画書を作成しています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児童発達支援管理責任者だけでなく、支援に関わる職員が連携し計画書を作成しています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3		訪問施設先の担任の先生と連携し、意向を反映させた支援計画書を作成しています。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援計画書を職員間で共有し、一貫性のある支援が提供できるように取り組んでいます。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3		保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」を踏まえ、その子に適した具体的な支援内容を計画に反映しています。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		支援計画を職員間で共有し、計画に基づいた一貫性のある支援を実施しています。	
15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担を明確にすることで、職員の連携を強化し、円滑な支援ができるようにしています。		

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		支援後、「良かった点」と「改善点」をメモし、次回の支援に活かしています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3		訪問先の方法に合わせて柔軟に対応し、定期的にフィードバックを行い理念を尊重しています。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	3		支援後、毎回詳細な記録を取り、支援内容や結果、気づきを整理しています。記録を基に職員間で振り返りを行い、改善策を共有し次回に活かすようにしています。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的にモニタリングを行っています。これに基づいて支援計画が適切かどうかを評価し、必要に応じて見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		必要に応じて支援に直接かかわっているスタッフが参加し情報を共有しています。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と定期的に情報共有を行っている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		3		就学時の移行時に、小学校をの情報共有が不足しているため連携体制を整え支援内容を共有するようになる。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3		外部の研修に参加し、最新の知識や技術を学び支援の質の向上に繋がっています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。		3		対象となる地域の自立支援協議会の開催頻度が少ないため参加できていない。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		日常的に保護者と子どもの発達や課題について意見交換を行い、定期的に面談や連絡ツールを通じて共有しています。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3		現時点では家族支援プログラムや研修の機会を提供していないため、今後家族の対応力向上を支援するプログラムなどの提供が必要です。
保護者等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		運営規程や利用者負担について丁寧に説明を行い、疑問点があればその場で解決できるようにしています。また書面でも案内しております。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3		訪問先施設には、事業の趣旨や訪問支援の目的を事前に丁寧に説明し理解を得た上で支援を開始しております。また、施設のニーズに応じて具体的な支援内容を調整しながら進めています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3		保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意向を積極的に確認し、個別のニーズを反映させるようにしています。定期的な面談を行い、家族の意見をしっかりと聞く機会を設けています。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3		「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容を説明し、保護者の理解を得た上で同意を得ています。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3		定期的に家族からの子育てに関する悩みや相談に応じ、柔軟に対応しています。	

への説明等	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3		保護者同士の交流の場やきょうだい同士の交流の場が不足しているため、今後は定期的なイベントや会合を開催し、保護者やきょうだいが互いに支え合えるような環境作りを進めることが求められます。
	33	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、専用の窓口を設けて対応体制を整えています。また、保護者にその体制を周知し、迅速に対応できるようにスタッフ間で連携を図っています。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		定期的に通信を発行し、HPやSNSを活用して、活動概要や連絡体制についてこどもや保護者に情報を発信しています。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	個人情報の取り扱いについて、厳格な管理体制を設け、スタッフ全員に定期的な研修を実施し、情報の保存・共有に関しても適切な方法を徹底しています。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	障害のあるこどもや保護者と円滑に意思疎通を図るため、個別のニーズに応じた配慮をしています。	
	訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	状況に応じて、直接の対話、電話、連絡システムなどを使い分けています。例えば、急ぎの連絡は電話で、詳細な説明や確認は書面やシステムを活用しています。
38		保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	保育所等訪問支援の実施後には、訪問先施設とカンファレンスを行い、支援内容や成果を振り返り、次回に向けた改善点を共有しています。	
39		保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	保育所等訪問支援の実施後には、支援内容を家族に適切に共有するため、個別に連絡システムや面談を通じて説明を行っています。家族が理解しやすい形で報告しています。	
40		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	訪問施設への説明時に、個人情報の取り扱いについて十分に留意し、適切な管理方法を明確に伝えています。また、施設側にも同様の配慮をお願いし、情報の取り扱いに関する合意を得ています。	
41		訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	訪問先施設からの相談には迅速に対応し、信頼関係を大切にしています。施設のニーズに応じて、専門的な助言を具体的で実践的な形で提供し、課題解決をサポートしています。またわかりやすく伝えることを意識しています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	併設の子ども園と同じマニュアルを策定し、訓練を行っている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	安全計画を定期的に見直し、職員全員が参加する研修や訓練を実施しています。また、緊急時の対応マニュアルを整備し、実践的な訓練を通じてスタッフの意識向上を図っています。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	少しでも危険があれば毎朝の朝礼で共有し、改善するようにしている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	研修に参加し、日頃から意識している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	身体拘束をするケースなし。	